

金沢市長表敬訪問

令和3年6月2日に山野之義金沢市長が表敬訪問のため来院されました。山野市長は高齢者施設のワクチン巡回接種について協力と感謝の気持ちを述べられ、永田理事長、得永院長、金谷常勤顧問、矢来事務長、坂田看護部長とワクチン接種や医療の現状について意見交換をしました。



医療法人明仁会
かないわ病院
〒920-0351
石川県金沢市普正寺町9-6
電話 076-267-0601(代)
FAX 076-267-0962



かないわ病院公式 SNS

Facebook



Instagram



当院では、新型コロナウイルス対策に伴い、入院患者さんの面会制限をいたしております。入院患者さん、ご家族の皆さんには多大なご迷惑をおかけしますが、感染防止強化のため、当面の間、**面会を予約制**とさせていただきます。面会の予約につきましては、各病棟スタッフまでお訪ね下さい。
なお、差し入れ・洗濯・他科受診等でご来院の場合は、受付までお申し出下さい。

かないわ病院 基本理念

- ① 患者様の権利・人権を尊重します。
- ② 適切な医療と正確な情報を提供します。
- ③ 社会復帰と地域支援を目指します。

かないわ病院 基本方針

- ・私達は、個人の尊厳を厳守し十分な説明と同意に基づく医療を提供します。
- ・私達は、患者様の主体性・個性を重視し最小限の制限と開放に努めます。
- ・私達は、自己啓発に努めるとともに全職員相互の力を発揮できるように努めます。

こんにちは！

かないわ病院です

2021年8月発行 第18号～コロナワクチン巡回接種特別号～

日本でも2月からコロナワクチンの予防接種が開始されました。新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を抑え、感染症対策の要となるワクチンの接種が全国一斉に進められています。

今回、当院は金沢市内の高齢者施設への巡回接種に参加しました。この特別号では、巡回接種の様子などをお伝えしたいと思います。

参加に至った動機・準備～循環器内科金谷法忍医師より～

精神科病院や高齢者施設では一般的な医療施設とは異なる特別な新型コロナウイルス感染症対策が求められます。とりわけスタッフによる感染持ち込みが最大のクラスター（集団感染）発生の要因と考えており、スタッフの早期のワクチン接種を願っていました。幸い、医療従事者優先接種が開始され、5月15日をもって、当院職員希望者144名の2回目ワクチン接種を無事に終了できました。

65歳以上の高齢者にワクチン接種券が配布されたことを踏まえ、近隣の高齢者施設巡回接種の協力を金沢市に自主的に申し出ました。金沢市役所健康政策課の実態意向調査から、高齢者施設の27施設の入居者および職員延べ約1,400人が接種時期未定または見込みがないということを知りました。その施設の所在地を拝見すると岸川、森本、田上、平和町、長坂台、高尾、四十万など金石港傍に位置する当院からは程遠い地区ばかりが残っていました。一旦は保留しましたが、新型コロナウイルスは待ってくれるものではないことを考えると、ワクチンがありながら接種前に高齢者施設でのクラスター発生を招いたとしたら如何に悲惨なことになるか明白です。1件たりともクラスター発生を防ぐことが重要であると考え、院内の高齢者接種に先んじて一刻も早くにワクチン接種に協力することを最優先と考え、協力することにしました。

早速、私がリーダーとなりスタッフの賛同を得て全施設の巡回接種を早急に終える計画を立てました。

巡回スケジュール

巡回ワクチン接種実施

通常診療を行いながら5月27日から巡回接種を開始しました。医師1名・看護師3名が一つのチームとなり、土曜日・日曜日も含め1チームあたり1～3施設（一施設十数人～100人前後）の接種計画を立てました。施設職員と面識ない中、施設の規模・構造・特徴についても十分把握しておらず、加えては、今回使用するワクチン（ファイザー社のコミナティ）の保管管理、接種方法などにも留意事項が多く、スムーズに接種するためには施設との事前打ち合わせが必要でした。実施にあたり金沢市役所健康政策課の山本氏、坂田看護部長の事前準備の貢献度は大きいものでした。

施設への移動は金沢市が用意していただいた貸し切りタクシーで可能な限り移動時間を短縮することができました。1回目接種では事前に打ち合わせを行ったとは言え、施設の受け入れによる体制は様々であり、認知症の方、難聴の方、意思表示が困難な方、身体機能が低下している方、車椅子の利用者、補助装具の利用者が多く、そのため問診や接種への誘導に時間を要すること、接種前後の待機、観察場所の空間的制約、マスクの着用の不徹底など高齢者施設ならではの課題に直面しました。施設ごとに臨機応変に対応することに努めましたが、安全かつ確実に接種することが最も重要と考え、接種後のアナフィラキシーショックや重篤な基礎疾患を有する高齢者の全身状態の変化も予想されたため1回1回緊張感をもって実施しました。施設職員の協力は不可欠であり、2回目は十分な準備を行っていただきスムーズに実施できました。

7月7日予定していた25施設、入居者および施設職員延べ2,813人（1回目1,418人、2回目1,395人）の接種を無事終了することができました。問診で戸惑う方もいましたが、幸いなことにアナフィラキシーショックをはじめ重篤な急性副反応にも遭遇することはありませんでした。また、当日の接種キャンセルによる廃棄の回避に関しても細かな規制の中、臨機応変に対応・工夫し、結果的には高齢者施設巡回接種としてシリンジ（注射筒）6本分の廃棄で終えることができ、スタッフ一同の努力に感謝したいと思います。



巡回接種を終えて学んだこと

高齢者施設といっても施設間の住環境の違いに驚きました。また様々な入居者がいること、ほとんどが病気を患い、多くの薬を服用していること、介護スタッフの業務の大変さについても改めて知ることができ、多くを学ぶことができました。今回の接種では、最高齢者は108歳で100歳前後の方も数人おられ、90歳以上の方も相当数で、如何に高齢者が多いかの実態も垣間見ることができました。

以前から叫ばれている地域包括ケアシステムでの高齢者施設医療機関、行政に関わるスタッフ同士の連携の必要性を改めて考えさせられました。待望のワクチン接種が始まったことにより、長く続くコロナ禍において、出口の見えないトンネルの中でのようやく一条の光を見出すことができたような思いであり、収束に向けてのワクチン接種が切り札になることを今後期待します。これからも続くコロナ禍において一精神科病院としてスタッフ一丸となり少しでも協力できるよう努めていきます。

（循環器内科 金谷法忍医師）



堂下隆医師

巡回接種を機にいろんな施設を見られる良い機会でした。接種時する際には高齢者に対するスタッフの優しさを感じました。



坂田めぐみ看護部長

コロナ対策に皆で携わることができ、とても良い経験をさせていただきました。多くの事を学び、自信となりました。これからも私たちの出来ることを考え、取り組んでいきたいと思っています。

巡回接種に参加した職員の感想

大道健二看護師長	このコロナ禍で自分にも貢献できることが見つかり、やりがいと使命感を感じながら貴重な体験をさせていただきました。金谷先生を始めとした巡回メンバー、巡回施設関係者や入居者のコロナと戦う一体感を感じ、自分も改めてできることを頑張ろうと思いました。
得永征芳看護師長	5月下旬より、新型コロナワクチンの巡回接種に参加し、様々な施設入居者様と関わる機会となり、勉強になりました。ワクチンの接種率は依然として遅延していますが、その中で微力ながらも協力できた事を幸いに思います。
安達陽子看護師長	看護師としての「使命感」を感じ、私にとって、かけがえのない経験でした。
橋本ちかげ看護師長	コロナに負けず、楽しみを持って今後を過ごして頂きたいと思い、巡回に参加させて頂きました。様々な施設も見学することができ、有意義な時間でした。
高田美紀副看護師長	巡回接種は気を遣いましたが、終わった後は達成感の方が大きかったです。今後も協力出来ることがあればしていきたいです。
山口美咲副看護師長	施設ごとの環境に応じた接種場所の確保や実施の難しさを感じました。今までにない貴重な経験でした。
本橋匠副看護師長	巡回接種の大変さ、接種を待っている方が多くいることに驚きました。今回の体験で今なお、最前線でコロナと向き合う医療関係者の方々に感謝と、一日でも早い終息を願いたいと思いました。
神田遥香副看護師長	コロナワクチンの接種に参加させていただき、とても貴重な体験をすることになりました。少しでも拡大防止に協力できていれば幸いです。
秋田瞳副看護師長	入院患者さん以外の高齢者にワクチン接種をする機会はなく、施設の中に入ることもすべての出来事が良い刺激になりました。また緊張感もあり、初心に戻ることができました。
松田俊彦看護師	今回7施設7回の巡回接種に赴きました。特に事故や重い副反応が出たという知らせもなく安心しています。1日も早く収束し、流行前の日常に戻ることを願っています。

